

自主保育から小学校への ステップ (うまエッセイ 23)

遊ぶことに没頭する日々を過ごしていた自主保育出身の子どもたちにとっては、小学校は全く違う世界。年長時の担任の先生と相談・協力しながら、自主保育で育てた土台を大切に、小学校でもその力を発揮できるようにと、学習と遊びの機会を提供する「もやま小学生」という活動を立ち上げました。

週1回の学習サポートでは、迷路や点つなぎなどで見る力や空間認知力、運筆力を伸ばし、タングラムという複数のピースを組み合わせて図形を作る課題で、図形感覚や想像力などを養い、クイズ形式の問題で解く楽しさを感じられるようになりました。楽しいことにはとことん集中できる力を持っている子どもたちは、プリントにもどんどん取り組み、いつも足りないぐらいいました。考えたり、発見したりすることの楽しさを学習に結びつけていけば、子どもたちの持つ力が生かせるのではと感じました。そして学習の後には、公園で保育士の先生と思う存分遊びました。娘は小学校で友達にできたものの、学校での友達と自主保育での友達とは遊び方が違うようで、気心知れた仲間たちと暗くなるまで走り回って遊ぶ時間は、とても貴重なものとなりました。さらに親にとっては、公園で立ち話ができる時間が復活し、ほっとできる時でもありました。

また月1回は、自主保育でよく遊んでいた公園に集まり、朝から日が暮れるまで遊びました。きょうだいも一緒に参加することが多く、自主保育の延長のように異年齢集団で遊ぶことができ、一人っ子の娘にとってもありがたい機会でした。素敵な仲間とつながっていただけることで、子どもたちも親も新たな場で頑張れるようになっていきました。

そして、「もやま小学生」で行っていたことが、現在のミルキーアフタースクールにも生かされています。公園で遊ぶ代わりに、馬と遊んだり、馬場で遊んだり。

学校外の場で、馬とのかかわりを楽しみ、みんなで勉強し、自分らしく居られる「居場所」があることで、それぞれの子どもたちが持っている力を伸ばしていくことができたいと思っています。



オ ス ス メ の 本

『わたしのマントはぼうしつき』

作：東直子 絵：町田尚子 岩崎書店



ぼうしつきのマントが大好きなこぐまちゃん。雨の日も風の日も、うれしいときも悲しい時もぼうしをかぶります。お友だちの猫と馬の表情や仕草がとてかわいくて、見ていて飽きません。町田尚子さんの個展で見つけ、一目ぼれでした。オーバーオールを着て、長靴を履いている馬は、なんだかアキオに似ていると感じます(笑)。コンテナハウスの本棚に置いてあるので、一度読んでみてください。



ボクも
読んでみたいな

編 集 後 記

北杜市に移住してきて3年が経ちました。去年は、3年目はどんな暮らしになるのだろうと、ドキドキワクワクしていましたが、今は移住して本当に良かったと感じる日々です。裏山での活動を開始して半年、少しずつですがミルキーフレンズやミルキーアフタースクールの子どもたちも、ビジターの参加も増えてきました。ミルキーの周りでたくさん笑顔がみられ、馬場で子どもたちが走り回り、その様子を見ながら保護者の方々とお話をする時間がこの上なく幸せで、こんなことがやりたかったのだなあとしみじみと感じています。

娘は11月に修学旅行も終え、小学校生活も残りわずかとなりました。暇さえあれば絵を描いている娘ですが、図工の時間に描いた「わたしの大切な風景」が第74回教育祭図工美術作品展で県特選となり、年明けには県立美術館に展示されるとのこと。好きなことが評価され、自信にもなったようです。今できることに精一杯取り組み、残りの小学校生活を楽しんでほしいと思います。

(峯崎友香理)

発行 馬の学校 Milky Way

〒408-0002 山梨県北杜市高根町村山北割 3107 八ヶ岳南麓 URAYAMA

TEL/FAX: 0551-30-4397 E-mail: umanogakkou@yahoo.ne.jp

ホームページ: <http://www.horseschool.org>

第一種動物取扱業(展示)登録番号: 第 2241008 号 動物取扱責任者: 中井(峯崎)友香理



通信

